

令和4年度

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

事業報告書

I. 事業の状況	1
II. 処務の概要	7
III. 計算書類	10
貸借対照表	10
貸借対照表内訳表	11
正味財産増減計算書	12
正味財産増減計算書内訳表	13
財務諸表に対する注記	14
附属明細書	16
財産目録	17
監査報告書 (写)	18

公益財団法人 八雲環境科学振興財団

I. 事業の状況

1. 助成事業

1-1. 環境研究助成事業

令和4年度 環境研究助成事業を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

自然環境の改善に寄与する研究に対する研究資金の助成

① 特定研究

- ・総事業費 1200万円程度
- ・助成件数 8件程度
- ・助成金額 1件あたり150万円以内
- ・募集テーマ

A：低炭素社会に関する研究
B：生物多様性に関する研究
C：防災・減災に関する研究

② 一般研究

- ・総事業費 400万円程度
- ・助成件数 5件程度
- ・助成金額 1件あたり80万円以内

(2) 日程

- ・募集期間 令和4年2月26日～4月22日
- ・選考委員会（Web） 令和4年5月13日
- ・理事会にて承認（書面） 令和4年5月17日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

① 特定研究

- ・応募総数 17件
- ・助成実施件数 9件
- ・助成金額 11,368,080円

② 一般研究

- ・応募総数 21件
- ・助成実施件数 6件
- ・助成金額 4,650,000円

環境研究助成事業合計

助成実施件数 15件

助成金額 16,018,080円

(4)助成対象者

①特定研究

(単位：円)

所属機関	氏名	研究テーマ	助成金額
統合物性モデル技術研究組合	木村隆行	衛星 SAR や地形データを活用した不安定斜面分布図 (新ハザードマップ)	1,500,000
倉敷芸術科学大学	仲 章伸	低炭素社会実現に向けたシリコン (ケイ素) の利用に関する研究	1,200,000
岡山大学学術研究院自然科学学域	前田千尋	カーボンニュートラルを目指した光駆動型二酸化炭素固定化反応の開発	1,500,000
岡山大学学術研究院自然科学学域	山方 啓	反応機構に立脚した高活性可視光応答型光触媒の開発	1,500,000
岡山理科大学工学部	小田哲也	水上-空中変形機構を備えるドローンと簡易な河川内三次元測量技術の開発	1,300,000
岡山理科大学理学部	満身 稔	アクセプター内包亜鉛ポルフィリンダイマーに基づく可視光レドックス触媒の創製	800,000
岡山大学学術研究院教育学域	松多信尚	土石流危険渓流の安全度評価手法の確立ー重力探査による谷中に堆積する土砂の見積もりと土石流発生ポテンシャル評価ー	1,473,880
岡山大学学術研究院環境生命科学学域	近森秀高	防災・減災に向けた水域地形の変化に関する計測方法の実用化研究	594,200
岡山大学学術研究院環境生命科学学域	鳴海大典	シュタットベルケ型ビジネスモデルの導入による脱炭素ならびに地域付加価値創出効果	1,500,000
合計 9件			11,368,080

②一般研究

(単位：円)

所属機関	氏名	研究テーマ	助成金額
岡山大学異分野基礎科学研究所	田中健太	赤色光をエネルギー源として利用可能にする有機光触媒の開発	800,000
岡山大学資源植物科学研究所	森 泉	低バイパスフローイネ作出によるイネ地上部へのナトリウムおよびカドミウム取込みの低減	800,000
岡山大学学術研究院環境生命科学学域	藤岡春菜	スズメバチにおける栄養交換の機能解明と環境に及ぼす影響の解析	650,000
岡山大学学術研究院自然科学学域	大久保貴広	金属イオンの吸着分離を指向した酸化グラフェン由来の新規細孔材料の開発	800,000
岡山理科大学教育推進機構教育開発センター	山口一裕	ICT を活用した環境教育プログラムの構築～岡山理科大学で学ぶ自然教室での実践から～	800,000
岡山大学学術研究院環境生命科学学域	安場健一郎	AI を利用したキャベツ栽培における除草ポジション判別方法の開発	800,000
合計 6件			4,650,000
環境研究助成事業合計15件			16,018,080

(注) 所属機関、役職名は申請時現在。

1-2. 国際研究交流助成事業

令和4年度 国際研究交流助成事業を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

環境科学に関する海外研究集会への参加、又は海外研究者の招聘にかかる渡航費用等の助成

- ・総事業費 40万円程度
- ・助成件数 2件程度
- ・助成金額 1件あたり20万円以内

(2) 日程

- ・募集期間 令和4年2月26日～4月22日
- ・選考委員会（Web） 令和4年5月13日
- ・理事会にて承認（書面） 令和4年5月17日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・応募総数 3件
- ・助成実施件数 2件
- ・助成金額 400,000円（1件の辞退あり）

(4) 助成対象者

（単位：円）

所属機関	氏名	研究集会名（主催機関名）	開催地	開催期間	助成金額
岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 博士課程	鄭 詩穎	8th International Symposium for Geotechnical Safety & Risk	ニューカッ スル、オース トラリア	2022.12.14 ～ 2022.12.16	200,000
岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 博士課程	任 宇翔	International Symposium on Reliability Engineering and Risk Management2022	ハノーフェ ー、ドイツ	2022.9.4～ 2022.9.7	200,000
合計 2件					400,000

1-3. 研究集会助成事業

令和4年度開催の研究集会助成事業を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

令和4年10月1日から令和6年3月31日までに岡山県内で開催される環境科学に関する研究集会等に対する助成

- ・総事業費 90万円程度
- ・助成件数 3件程度
- ・助成金額 1件あたり30万円以内

(2) 日程

- ・募集期間 令和4年2月26日～4月22日
- ・選考委員会（書面） 令和4年5月13日
- ・理事会にて承認（書面） 令和4年5月17日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・ 応募総数 1 件
- ・ 助成実施件数 1 件
- ・ 助成金額 300,000 円

(4) 助成対象者

(単位：円)

所属機関	氏名	研究集会名（主催機関名）	開催地	開催期間	助成金額
岡山大学学術研究院 自然科学学域	岸本 昭	第61回セラミックス基礎科学 学討論会	岡山	2023.1.7 ~ 2023.1.8	300,000
合計 1件					300,000

1-3-1. 追加募集（研究集会助成事業）

令和4年度 研究集会助成事業の追加募集を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

令和5年2月1日から令和6年3月31日までに岡山県内で開催される環境科学に関する研究集会等に対する助成

- ・ 総事業費 60万円程度
- ・ 助成件数 2件程度
- ・ 助成金額 1件あたり30万円以内

(2) 日程

- ・ 募集期間 令和4年11月10日～令和2年11月20日
- ・ 選考委員会（書面）令和4年11月26日
- ・ 理事会にて承認（書面）令和4年12月4日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・ 応募総数 2 件
- ・ 助成実施件数 2 件
- ・ 助成金額 600,000 円

(4) 助成対象者

(単位：円)

所属機関	氏名	研究集会名（主催機関名）	開催地	開催期間	助成金額
岡山大学学術研究院 環境生命科学学域	哈布尔	アジア低炭素に関する国際 会議 2023	岡山	2023.10.17 ~ 10.18	300,000
岡山大学学術研究院 環境生命科学学域	前田 恵	第25回比較グライコーム 研究会	岡山	2023.3.4	300,000
合計 2件					300,000
研究集会助成事業合計3件					900,000

2. その他の事業

2-1. 環境科学啓発事業

小中高生の科学に対する関心離れへの対策や一般人の環境科学の啓発を目的に、岡山県内において広く活動している団体等に対して、ホームページにより公募した。

(1) 募集内容

- ・総事業費 20万円程度
- ・助成件数 2件程度
- ・助成金額 1件あたり10万円以内

(2) 日程

- ・募集期間 令和4年2月26日～4月22日
- ・理事会にて承認（書面） 令和4年5月17日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

- ・応募総数 3件
- ・助成実施件数 3件
- ・助成金額 300,000円

(4) 助成対象者

(単位：円)

氏名	参加会議名 講演又は発表の表題	助成金額
岡山市教育振興会・岡山市少年少女発明クラブ	センサーを利用した発明くふう作品の製作	100,000
岡山理科大学教育推進機構 基盤教育センター	小学生とその保護者を対象にした科学実験と科学ショーの実施	100,000
中国学園大学 子ども学部	SDGS(Sustainable Development Goals)の達成を目指した「子ども科学体験大学」	100,000
合計 3件		300,000

((注) 所属機関、役職名は申請時現在。

2-2. シンポジウム等の開催事業（研究成果発表会開催）

(1) 予算額及び実施額

- ・予算額 300,000円
- ・実施額 245,220円

研究成果発表会を、「おかやま教育の日」協賛事業として、以下のとおり開催した。

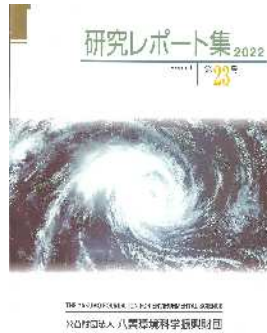
開催日	発表者	開催場所	参加者数	入場料金
令和4年11月5日	令和3年度環境研究助成事業の助成対象者14名	リーセントカルチャーホテル	80名	無料

2-3. 出版物の編集・刊行事業（研究レポート集刊行）

令和3年度助成対象者の研究助成報告書等に基づき、令和4年10月に「研究レポート集2022（第22号）」を刊行、200部作成し、岡山県内の研究機関、図書館等へ無料で配布した。

(1) 予算額及び実施額

- ・ 予算額 600,000円
- ・ 実施額 591,800円



「研究レポート集2022（第23号）」

2-4. 調査研究事業

今年度は、計画年度として、助成事業の成果の整理や研究開発等の企画、資料・情報の収集および提供、調査・研究等の支援について事務局にて検討を行った。次年度以降、実施予定としている。

また、引き続き、ホームページ等で助成の総括およびシンポジウムの内容を公開した。

2-5. 表彰事業

令和3年度環境研究助成特定テーマの助成対象者の中から、当財団選考委員からなる「八雲賞審査委員会」で、厳選なる審査を行い、第4回「八雲賞」が決定した。

(1) 八雲賞受賞者

岡山大学学術研究院環境生命科学学域 吉田 圭介 氏

受賞テーマ

「レーザー計測による3次元河道条件の推定と旭川分流堰周辺の洪水流解析への応用」

(2) 予算額及び実施額

- ・ 予算額 50,000円
- ・ 実施額 34,800円

Ⅱ. 処 務 の 概 要

1. 役員他に関する事項

(令和5年3月31日現在)

役 職	氏 名	就任年月日	現 職
理事長 理事	小谷 裕司	令和4年6月1日	(株)エイト日本技術開発代表取締役社長
	河野 伊一郎	令和4年6月1日	岡山大学名誉教授
	辻 英明	令和4年6月1日	前岡山県立大学学長
	沖 陽子	令和4年6月1日	岡山県立大学学長
	佐藤 豊信	令和4年6月1日	岡山商科大学大学院経済学研究科教授
	波田 善夫	令和4年6月1日	岡山理科大学名誉教授
	阿部 宏史	令和4年6月1日	環太平洋大学副学長
	伊丹 文雄	令和4年6月1日	E・Jホールディングス(株)顧問
監事	西田 秀史	令和4年6月1日	弁護士
	松原 治郎	令和4年6月1日	税理士
	小谷 浩治	令和4年6月1日	(株)エイト日本技術開発管理本部理事
評議員	本水 昌二	令和2年6月10日	岡山大学名誉教授
	杉尾 剛	令和2年6月10日	岡山大学名誉教授・杉尾化学合成独立栄養細菌研究所所長
	西垣 誠	令和2年6月10日	岡山大学名誉教授
	鳥越 良光	令和2年6月10日	岡山商科大学名誉教授
	星野 卓二	令和2年6月10日	岡山理科大学名誉教授
	神埼 浩	令和2年6月10日	岡山大学学術研究院環境生命科学学域教授
	岩田 正晴	令和2年6月10日	ロック地域計画事務所 代表
	谷本 俊夫	令和2年6月10日	元E・Jホールディングス(株)取締役
選考委員	藤井 勉	令和2年6月10日	(株)エイト日本技術開発監査役
	稲井 寛	令和4年4月1日	岡山県立大学情報工学部教授
	田村 隆	令和4年4月1日	岡山大学学術研究院環境生命科学学域教授
	佐藤 丈晴	令和4年4月1日	岡山理科大学生物地球学部教授
	藤原 健史	令和4年4月1日	岡山大学学術研究院環境生命科学学域教授
	後藤丹十郎	令和4年4月1日	岡山大学学術研究院環境生命科学学域教授
永井 泉治	令和4年4月1日	E・Jホールディングス(株)取締役	

2. 職員に関する事項

(令和5年3月31日現在)

役 職	氏 名	採用年月日	給与	担当事務	備考
事務局	小谷 満俊	平成26年6月1日	無給	企画及び総務	兼任
〃	二木 里美	平成26年6月1日	無給	企画及び総務、経理及び財務	兼任

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	出席者数	議事内容	会議の結果
令和4年5月17日	現在数8名 書面決議	1. 令和3年度事業報告の件 2. 令和4年度助成事業承認の件 3. 令和4年度環境科学啓発事業承認の件 4. 評議員会開催の件	可決 可決 可決 可決
令和4年6月1日	現在数8名 本人出席8名	1. 代表理事の選定の件	可決
令和4年12月2日	現在数8名 書面決議	1. 令和4年度研究会助成事業（追加募集）の承認の件	可決
令和5年3月3日	現在数8名 本人出席8名	1. 令和5年度事業計画（案）び収支予算（案）等の件 2. 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みの件 3. 令和5年度助成事業募集要項（案）の件 4. 令和5年度環境科学啓発助成事業募集要項（案）の件 5. 株式会社八雲の定時株主総会の件 6. 評議員会開催の件	可決 可決 可決 可決 可決 可決

(2) 評議員会

開催年月日	出席者数	議事内容	会議の結果
令和4年6月1日	現在数9名 本人出席8名	1. 令和3年度事業報告の件 2. 理事及び監事の選任の件 3. 令和4年度助成事業承認の件 4. 令和4年度環境科学啓発事業承認の件	可決 可決 可決 可決
令和5年3月3日	現在数9名 本人出席8名	1. 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）等の件 2. 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みの件 3. 令和5年度助成事業募集要項（案）の件 4. 令和5年度環境科学啓発助成事業募集（案）の件	可決 可決 可決 可決

4. 行政庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当事項はありません。

5. 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
令和4年4月1日	E・Jホールディングス株式会社	財団事務を月額50,000円にて委託する。

6. 寄付金に関する事項

寄附目的	種類	数	領収金額
運用財産として	個人		5,000 円

7. 行政庁の指示に関する事項

該当事項はありません。

8. 税法上の収益事業に関する事項

該当事項はありません。

9. その他重要な事項

該当事項はありません。

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,173,757	2,182,698	△ 8,941
流動資産合計	2,173,757	2,182,698	△ 8,941
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	47,912,000	47,912,000	0
投資有価証券	221,000,000	221,000,000	0
基本財産合計	268,912,000	268,912,000	0
固定資産合計	268,912,000	268,912,000	0
資産合計	271,085,757	271,094,698	△ 8,941
II 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	268,912,000	268,912,000	0
指定正味財産合計	268,912,000	268,912,000	0
(うち基本財産への充当額)	(268,912,000)	(268,912,000)	0
2. 一般正味財産	2,173,757	2,182,698	△ 8,941
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	271,085,757	271,094,698	△ 8,941

貸借対照表内訳表

(令和5年3月31日現在)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金		2,173,757		2,173,757
流動資産合計		2,173,757		2,173,757
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	33,538,400	14,373,600		47,912,000
投資有価証券	94,000,000	127,000,000		221,000,000
基本財産合計	127,538,400	141,373,600		268,912,000
固定資産合計	127,538,400	141,373,600		268,912,000
資産合計	127,538,400	143,547,357		271,085,757
II 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄付金	127,538,400	141,373,600		268,912,000
指定正味財産合計	127,538,400	141,373,600		268,912,000
(うち基本財産への充当額)	(127,538,400)	(141,373,600)		△ 268,912,000
2. 一般正味財産		2,173,757		2,173,757
(うち基本財産への充当額)				
正味財産合計	127,538,400	143,547,357		271,085,757

正味財産増減計算書
(令和4年4月1日より令和5年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	19,977,957	14,383,027	5,594,930
基本財産受取利息	1,700,957	1,275,957	425,000
基本財産受取利息振替額	1,377,000	1,307,070	
基本財産受取配当	16,900,000	11,800,000	5,100,000
②受取寄付金	5,000	2,005,000	△ 2,000,000
受取寄付金	5,000	2,005,000	△ 2,000,000
④雑収益	74	55	19
受取利息	74	55	19
経営収益計	19,983,031	16,388,082	3,594,949
(2) 経常費用			
①事業費	18,489,900	15,131,145	3,358,755
研究支払助成金	17,618,080	14,336,700	3,281,380
会場費	280,020	255,445	24,575
印刷製本費	591,800	539,000	52,800
②管理費	1,502,072	895,043	607,029
事務委託料	600,000	600,000	
会議費	429,888	4,622	425,266
旅費交通費	160,000	18,000	142,000
印刷製本費	30,748	4,108	26,640
通信運搬費	70,950	65,123	5,827
消耗品費	5,619	16,465	△ 10,846
租税公課	960		960
雑費	203,907	186,725	17,182
経常費用計	19,991,972	16,026,188	3,965,784
当期経常増減額	△ 8,941	361,894	△ 370,835
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	△ 8,941	361,894	△ 370,835
一般正味財産期首残高	2,182,698	1,820,804	361,894
一般正味財産期末残高	2,173,757	2,182,698	△ 8,941
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	268,912,000	268,912,000	
指定正味財産期末残高	268,912,000	268,912,000	
III 正味財産期末残高	271,085,757	271,094,698	△ 8,941

正味財産増減計算書内訳表
(令和4年4月1日より令和5年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	17,864,570	2,113,387		19,977,957
基本財産受取利息	670	1,700,287		1,700,957
基本財産受取利息振替額	963,900	413,100		1,377,000
基本財産受取配当	16,900,000			16,900,000
②受取寄付金	5,000			5,000
受取寄付金	5,000			5,000
④雑収益	74			74
受取利息	74			74
経常収益計	17,869,644	2,113,387		19,983,031
(2) 経常費用				
①事業費	18,489,900			18,489,900
研究費支払助成金	17,618,080			17,618,080
会場費	280,020			280,020
印刷製本費	591,800			591,800
②管理費	638,529	863,543		1,502,072
事務委託料	420,000	180,000		600,000
会議費		429,888		429,888
旅費交通費		160,000		160,000
印刷製本費	21,524	9,224		30,748
通信運搬費	49,665	21,285		70,950
消耗品費	3,933	1,686		5,619
租税公課	672	288		960
雑費	142,735	61,172		203,907
経常費用計	19,128,429	863,543		19,991,972
当期経常増減額	△ 1,258,785	1,249,844		△ 8,941
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 1,258,785	1,249,844		△ 8,941
一般正味財産期首残高	△ 5,843,163	8,025,861		2,182,698
一般正味財産期末残高	△ 7,101,948	9,275,705		2,173,757
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息	935,900	413,100		1,349,000
一般正味財産への振替額	△ 935,900	△ 413,100		△ 1,349,000
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高	127,538,400	141,373,600		268,912,000
指定正味財産期末残高	127,538,400	141,373,600		268,912,000
III 正味財産期末残高	120,436,452	150,649,305		271,085,757

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法

その他の有価証券

時価のないもの・・・移動平均法による原価法

(2) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

3. 会計方針の変更

該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	47,912,000	0	0	47,912,000
投資有価証券	90,000,000	0	0	90,000,000
投資有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
投資有価証券	14,000,000	0	0	14,000,000
投資有価証券	17,000,000	0	0	17,000,000
合 計	268,912,000	0	0	268,912,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	47,912,000	(47,912,000)	0	0
投資有価証券	90,000,000	(90,000,000)	0	0
投資有価証券	100,000,000	(100,000,000)	0	0
投資有価証券	14,000,000	(14,000,000)	0	0
投資有価証券	17,000,000	(17,000,000)	0	0
合 計	268,912,000	(268,912,000)	0	0

6. 担保に供している資産

該当事項はありません。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項はありません。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当事項はありません。

9. 保証債務（保証債務を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務
該当事項はありません。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりであります。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
中銀証券株式会社 MSFLLC日米2指数参照ステップダウン固定1225公社債	90,000,000	87,894,000	△ 2,106,000
大和証券株式会社発行日経リンク債	100,000,000	92,970,000	△ 7,030,000
合計	190,000,000	180,864,000	△ 9,136,000

(R5. 3. 31)

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当事項はありません。

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当事項はありません。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当事項はありません。

14. 重要な後発事象
該当事項はありません。

15. その他
該当事項はありません。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳に記載のとおりであります。

2. 引当金の明細

該当事項はありません。

財 産 目 録
(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額	
(流動資産)	現金		運用資金として使用している	98,641	
	預金	普通預金	運用資金として使用している	291,863	
		三井住友銀行岡山支店 中国銀行奉還町支店		1,783,253	
流動資産合計				2,173,757	
(固定資産)	基本財産	定期預金	三井住友銀行岡山支店 公益目的保有財産であり、公益目的事業(70%)、管理業務(30%)で使用している共用資産である。	47,912,000	
		投資有価証券	中銀証券株式会社 MSFLLC日米2指数参照 ステップダウン固定1225公社債	公益目的保有財産であり、公益目的事業(70%)、管理業務(30%)で使用している共用資産である。	90,000,000
			(株)八雲株式優先株式280株	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	14,000,000
			(株)八雲株式普通株式340株	運用益を公益目的事業の財源として使用している。	17,000,000
			大和証券株式会社発行日経リンク債	公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産として、運用益を管理費の財源に充てている。	100,000,000
固定資産合計				268,912,000	
資産合計				271,085,757	
正味財産				271,085,757	

監査報告書

令和5年4月13日

公益財団法人 八雲環境科学振興財団
代表理事 小谷 裕 司 殿

公益財団法人 八雲環境科学振興財団

監 事 西田 秀史

松原 治郎

小谷 浩治

令和4年4月1日より令和5年3月31日までの令和4年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上